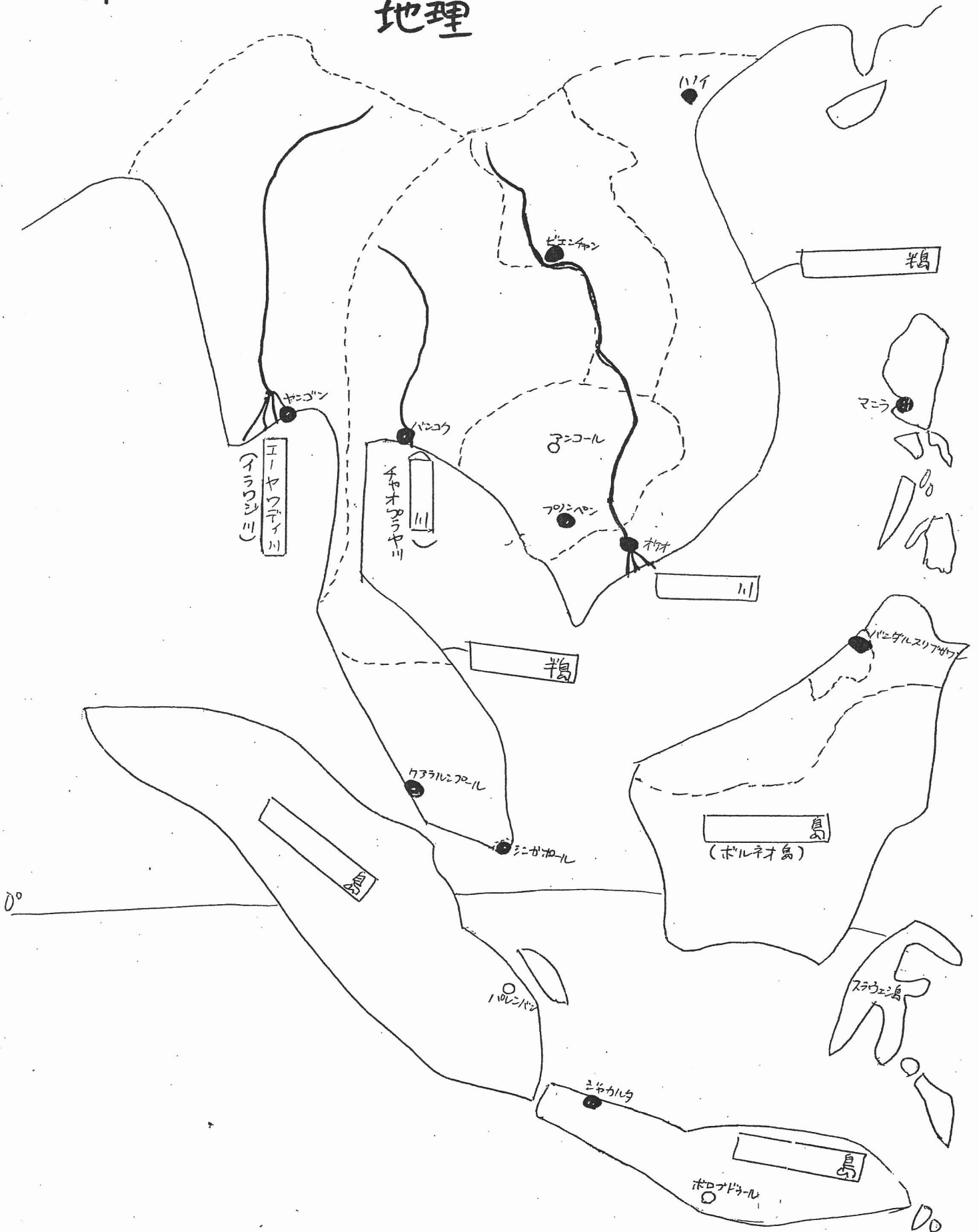
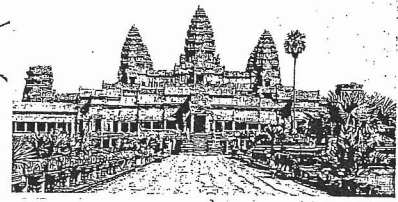
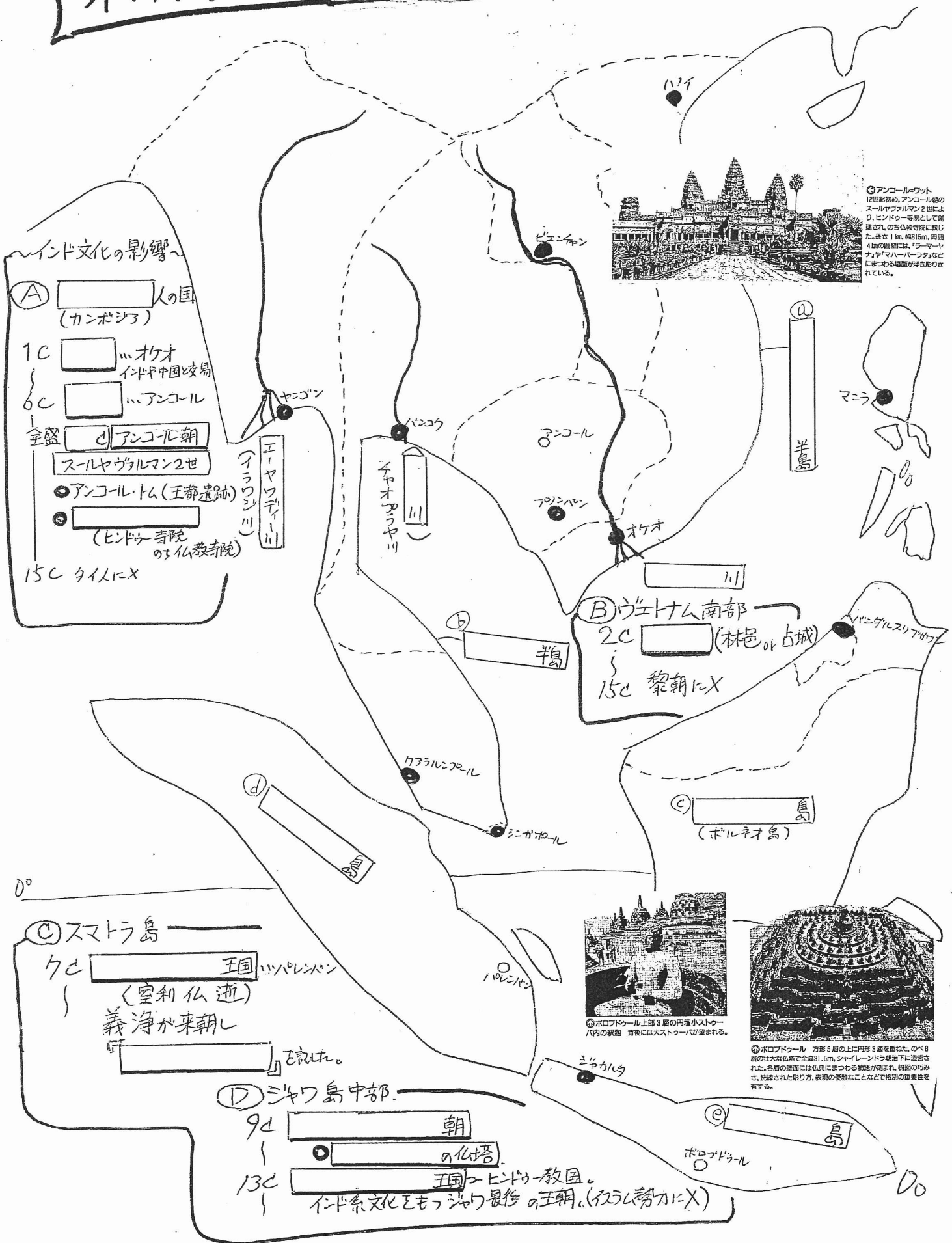


# 東南アジアの地理

中華人民共和国



# 東南アジアのまとめ



③ アンコール・ワット  
12世紀初め、アンコール朝の  
スールヤヴァルマン2世によ  
り、ヒンドゥー寺院として創  
建された。お仏教寺院に転じ  
た。長さ1km、幅35m、周囲  
4kmの範囲には、「ラーマーヤ  
ナ」や「マハーバーラタ」など  
にまつわる彫像が浮かび上  
げられている。

インド文化の影響

A  人の国  
(カンボジア)

1C  ... オケオ  
インドや中国の交易

6C  ... アンコール

全盛  アンコール朝  
スールヤヴァルマン2世

● アンコール・トム (王都遺跡)

●   
(ヒンドゥー寺院  
のお仏教寺院)

15C タイムにX

B ヴェトナム南部

2C  (林邑 or 占城)

15C 黎朝にX

C スマトラ島

7C  王国 ... パレンバン  
(室利仏逝)  
義浄が来朝し  
 を説いた。

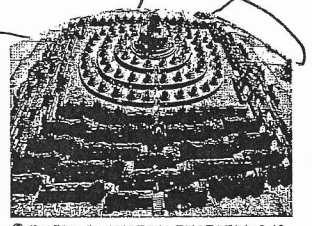
D ジャワ島中部

9C  朝  
●  の仏塔

13C  王国 ... ヒンドゥー教国。  
インド系文化をもつジャワ最後の王朝。(後ラジャワにX)



④ ボロブドゥール 上部3層の円形小ストウ  
パ内の釈迦 背後には大ストウパが望まれる。



⑤ ボロブドゥール 方形5層の上に円形3層を置いた。その上  
の層の大きな仏塔で全高31.5m。シャイラントラ塔塔下に造営され  
た。各層の扉には仏典にまつわる物語が刻まれ、彫刻のみ  
で、洗練された彫り方、表現の豊穡なことなどで格別の重要性を  
有する。